



北町小だより

練馬区立北町小学校

校長 瀧嶋 克己

<http://www.kitamachi-e.nerima-ky.ed.jp/>

令和4年度 学校評価にかかわるアンケートの結果のお知らせ

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、2学期の終わりに実施いたしました学校評価アンケートの集計が下記のとおりまとめましたのでお知らせいたします。保護者の皆様からの貴重なご意見は教職員で共有いたしました。また、学校評議員の皆様からは、保護者・児童・教職員のアンケート結果をもとにご意見を頂戴しました。

これらを次年度の学校教育の改善の貴重な資料とさせていただきます。ありがとうございました。

令和4年度 北町小学校の教育活動についてアンケート

■実施時期令和4年12月7日(水)～14日(水)

■対象 保護者 グーグルフォームにて回答(回答率52.2%)

児童 グーグルフォームにて(3～6年生) 紙面にて(1～2年生・すまいる学級)

教員 経営計画に沿った取組と成果

■回答

Aとてもそう思う Bだいたいそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない Eわからない

1 各設問について 結果と考察

※結果については、AとBを合計した数字を肯定的な数字として捉えました。(%)

(1)人権を尊重する教育および豊かな心の育成

(保護者)学校では「よいところ名人になろう」を意識して取り組んでいる。

(児童)よいところ名人になろう

	A	B	C	D	E
保護者	16.2	48.7	14.6	2.3	18.2
児童	23.8	49.4	13.4	4.3	9.1

(保護者)学校は、お子さんが協力し合ったり、仲よくかかわったりできるようにするなど努めている。

(児童)友達と協力して学習したり、仲よく遊んだりしている。

	A	B	C	D	E
保護者	28.2	55.2	7.5	2.9	6.2
児童	68.7	23.8	3.6	1.7	2.2

(教員)よいところ見つけ名人の取組と成果

	A	B	C	D	E
取組	60.6	36.4	3.0	0	0
成果	18.2	63.6	18.2	0	0

【結果と考察】

「よいところ見つけ」保護者[64.9]、児童[73.2]、という結果になりました。保護者の方は[18.2]わからないと回答し、答にくい項目でした。「協力や仲よく」について保護者[83.4]、児童[92.5]という高い結果になりました。

けんかをしたり、トラブルがあつたりしますが、多くの児童が学校で仲よく過ごしていることがわかります。児童のよさを学校でも家庭でも伸ばしていきたいです。

(2)楽しい学校生活を過ごしている

(保護者)お子さんは、楽しい学校生活を過ごしている。					
(児童)学校は楽しい。					
	A	B	C	D	E
保護者	43.5	48.1	5.8	1.9	0.6
児童	57.4	28.1	8.6	3.6	2.2
(児童)いつでも、きまりやルールを守って安全に生活している。					
	A	B	C	D	E
児童	48.8	39.6	5.7	1.9	3.9
(児童)先生は、がんばっていることをほめてくれたり、困っているときにアドバイスをくれたりする。					
	A	B	C	D	E
児童	53.2	30.9	7.1	2.8	6.0

(3)確かな学力の定着

(保護者)教員は、児童が自ら学ぶ力を身に付けるよう指導している。					
(児童)わからないことやできないことがあってもあきらめず学習している。					
	A	B	C	D	E
保護者	29.2	54.2	9.1	1.3	6.2
児童	39.0	39.0	13.8	4.2	4.0

(児童)タブレットの使い方がわかり、自分で学習することができる。					
	A	B	C	D	E
児童	60.4	26.4	7.5	1.8	3.9

(教員)いじめ・不登校の未然防止・早期対応の取組と成果					
	A	B	C	D	E
取組	33.3	63.6	3.0	0	0
成果	9.1	84.8	6.1	0	0

【結果と考察】

「楽しい学校生活」の項目では保護者[91.6]、児童[85.5]という肯定的に回答しています。また、児童には「きまりやルール」についても質問項目をとりました。この質問に児童は、守っている[88.4]と回答しています。児童数が多いため特に休み時間の遊び方や廊下歩行などでは、事故やケガがないように指導していきます。「先生はほめてくれたり、アドバイスをくれたり」について児童は、[84.1]肯定的に回答しています。

児童が「楽しい学校生活」を送れるよう、教員はいじめや不登校対応にも力を入れています。今後ともご家庭と連携を図っていきます。

(教員)児童の実態に合わせ授業を構想し、主体的、対話的で深い学びにつながる授業改善					
	A	B	C	D	E
取組	42.4	48.5	9.1	0	0
成果	9.1	72.7	18.2	0	0

(教員)ICT等を活用し、児童の意欲を引き出す工夫のある授業をしている。					
	A	B	C	D	E
取組	21.2	51.5	24.2	3	0
成果	6.1	60.6	27.3	6.1	0

【結果と考察】

学校ではすべての授業ではありませんが「主体的で対話的で深い学び」につながる授業が求められています。ここでの項目内容が保護者と児童で異なります。保護者の方には「児童が自ら学ぶ力を身に付ける指導」を問う内容です。保護者の方は、[83.4]肯定的な回答でした。児童には「わからないことやできないことがあってもあきらめず学習」という項目です。児童は、[78.0]肯定的に回答しています。学校でも「できない」「わからない」に丁寧に対応していきたいと思えます。地域未来塾のような補習の場を地域の方と検討しています。また、児童へは「タブレットの使い方がわかり自分で学習できる」の問いを設定しました。[86.8]肯定的な回答をしています。

(4)健やかな体の育成

(保護者)学校は外で元気に遊んだり、運動したりする子供を育てている。					
(児童)外で元気に遊んだり、すすんで運動したりしている。					
	A	B	C	D	E
保護者	26.9	58.1	8.8	1.3	4.9
児童	55.3	27.6	10.3	4.2	2.6

(教員)なわとびや持久走月間等の体育的活動や体育行事の充実を図る。

	A	B	C	D	E
取組	18.8	56.3	15.6	9.4	0
成果	12.5	53.1	25	9.4	0

(教員)進んで運動に取り組めるよう体育学習を工夫する。

	A	B	C	D	E
取組	37.5	50	3.1	9.4	0
成果	28.1	62.5	3.1	6.3	0

【結果と考察】

ここ数年はコロナ禍で分散の外遊びや、マスクが外せないため水泳や持久走の学習ができない時期がありましたが、今年度少しずつ改善されてきています。学校では、中休みは外で遊ぶことを励行しています。保護者の回答では、[85.0]、児童は[82.9]肯定的に回答しています。12月の学校評価のため持久走の取組は反映していません。教員の中には体育の授業を行っていない教員もいます。学校だけでなく、ご家庭でも運動の習慣や外遊びの励行をすすめてほしいと思います。健康は幾つになっても大切です。

(5)家庭および地域社会に開かれた学校

(保護者)保護者会や各種のたより、HP等で学校の教育活動をわかりやすく伝えている。					
	A	B	C	D	E
保護者	25.6	59.8	9.1	2.6	2.6

(教員)学校だより等や、HPの更新。効果的な学校連絡メールの活用など学校の様子を伝えている

	A	B	C	D	E
取組	18.2	54.5	27.3	0	0
成果	3	81.8	15.2	0	0

【結果と考察】

家庭および地域社会に開かれた学校では、ここ数年できなかった6年生のインターンシップを実施することができました。PTAや保護者の方々にご協力いただき、新たに協力して下さるお店を開拓してくださったり、児童のお店へのあいさつに付き添っていただいたりインターンシップ一つとってもPTAや保護者の方々に大変お世話になりました。地域の方々には、120名を超える児童の受け入れをお店や保育園などでしていただきました。

ここでの項目の内容については、学校の教育活動をわかりやすくお伝えすることができたかどうかを質問させていただきました。保護者の方の[85.9]の肯定的な回答をいただきました。教員では、目の前の業務に追われ特にホームページの更新ができなかった。と回答しています。来年度もわかりやすくお伝えできるよう工夫していきます。

2 学校評議員の皆様からのご意見

- ここ数年、行事や学校公開が保護者の方に限られ児童の様子を参観する機会がなくなっていたが、12月の開校70周年記念式典に参加し6年生児童の立派な姿をみることができた。
- 北町小の児童は、虫歯が少ない。これからも日頃の歯磨きや虫歯になったら早めに治療してほしい。
- 練馬区青少年育成第八地区は、北町小学校と北町中学校の2校であり、北町小学校の卒業生が北町中学校に多く行くので連携がとりやすい。学校だけでなく地域でも育てていきたい。
- 児童館でのフェスティバルでは、北町小学校の児童も多く参加し、お店を出したりして責任をもって取り組んでいた。様々なイベントを行っているのでこれからも児童館へ遊びにきてほしい。
- 応援団では、今年度応援団まつりを実施した。他の関係機関と連携しお店を出したが、体育館に多くの子供が集まった。コロナ禍でイベントがなかなかできなかつたのでとても楽しみにしていたのがわかった。

など

3 保護者の皆様からのご意見

ご意見には、多くの励ましや応援のお言葉をいただきました。ありがとうございます。教員のこれからの励みになります。また、ご意見や質問もありがとうございます。教職員間では、増し刷りして読ませていただき実施できるものは実施していきます。

(1) 体育発表会か運動会

- 体育発表会は、もう全学年の運動会にしてもよいと思います。他の活動にしても感染防止に効果があるとは感じられず、学校生活の思い出が子供に残らないのではと思います。
- 運動会等や学習発表会は学年で分散されることで見やすく毎年これでよいと思うほど快適でした。

学校から⇒

- コロナ禍前から運動会の課題は、1つ目は暑さ対策があります。5月の運動会練習でも熱中症対策が必要になり短時間で切り上げることもありました。児童用にテントを設営するにしても参観者の方々の熱中症対策は難しくなります。全校による運動会にしても午前中で終了するなどの工夫が必要です。2つ目は、新しい学習指導要領になり、3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間英語と授業時数が前回の学習指導要領に比べて週の時間割で1時間増となりました。それに反するように教員の働き方改革が重なっています。現段階では春の体育発表会を考えています。

(2) SNSについて

- 子供の携帯普及からかグループLINEがあるようです。我が子が入っていませんが取り扱いを各家庭でしっかりしてほしい。

学校から⇒

- 学校でも全校朝会や保護者会等を通じて児童や保護者の方々にお伝えしていきます。スマートフォンやタブレットは便利な反面、人を傷つけてしまったり、知らないうちに悪用されたり、友達との連絡が深夜に及ぶなどのケースを学校でも把握しています。これからも学校、家庭で連携していきたいと思えます。

※感染症対策には賛否両論ありました。今後は緩和される方向だと思います。4月1日以降の学校の感染症に対応のガイドラインを練馬区が作成しています。ガイドラインに沿って行っていきます。